

団体名： 豊橋商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考	
				目標①		目標②		得られた効果	ABC評価				今後の展開・改善点等				
				指標	数値	指標	数値		総合評価	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①		目標②
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者の金融、経理、税務、及び雇用対策等に関する経営諸問題について相談を受け、商工会議所を始め、国、県、市の各種制度の積極的な利用を促すことで、経営改善の一助となることを目的に実施する。	巡回・窓口指導延件数:2,114件 巡回・窓口実企業数:1,018件 課題解決提案件数:212件 経営革新承認件数:9件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 146.8%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 176.7%)	経営指導員による巡回・窓口相談指導の結果、小規模事業者へ、商工会議所・国・県・市の金融・雇用・補助金等を中心とした各種施策普及を図ることで、経営支援を行うことができた。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 必要性 A	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 下げる 実施方法② 現行どおり	次年度も引き続き小規模事業者の経営課題解決のため、巡回・窓口相談指導対応をしていく。また、必要に応じて専門家派遣等を実施する。
記帳継続指導	管内個人小規模事業者の自主記帳の促進を図ることを目的として、日常の記帳から決算・税務申告に至るまで記帳実務の習得に向けて取り組んでいる。また、決算時には税理士による記帳専門指導を行い、適正な決算書作成に向けて指導する。具体的には、毎月記帳状況を確認するとともに、源泉徴収や決算処理、確定申告などの事務処理方法について指導する。	指導対象事業所数 8件	小規模事業者	指標	指導対象事業所数 (達成度 80.0%)	指標	指導対象事業所数 (達成度 %)	相談の傾向として創業者(主に美容業)の方が多く来所され、正しい帳簿作成や確定申告の仕方について指導する事ができ、今後の安定的な経営活動の支援を図る事ができた。令和2年分の所得税確定申告から青色申告特別控除の適用要件が変更され、マイナンバーカードを活用したe-Taxによる電子申告を行うことで65万円控除を進めることができた。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 B 必要性 A	満足度 B 必要性 A	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	創業者や白色申告・青色申告者を中心に引き続き正しい帳簿の作成、確定申告(主にe-Tax)による電子申告)について指導を行っていく。
講習会等	目まぐるしく変化化する経済情勢に対応した情報提供を通じて、小規模事業者の経営革新と人材育成をサポートする。また、複雑化する経営環境に対して小規模事業者が健全かつ高度な経営が行えるよう、専門的な立場からの意見、アドバイス、指導が容易に得られる場を提供する。	小規模事業者向けの情報サポートと人材育成に特化した講習講演会を厳選して効率的に実施する。 ・集団 16回 参加者総数 318人(内、小規模事業者 70人) ・個別 55回 参加者総数 53人 計371	小規模、中小事業者の経営者、幹部、社員	指標	集団参加人数 (達成度 43.0%)	指標	個別相談者数 (達成度 73.6%)	コロナ感染防止の自粛による影響を大きく受け、計画していたセミナー・講習会を予定通り開催できなかった。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 満足度 B 必要性 A	満足度 B 必要性 A	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	引き続きコロナ禍の影響が大きいが、感染防止対策に努め、可能な限り開催していく。
青年部	若手経営者、後継者育成のための組織。会員相互の啓発と企業を持続的発展、商工会議所の事業活動の活性化及び地域産業・経済の発展のため、提言、意見具申を含めて各種事業を行う。ひとづくり委員会、まちづくり委員会、ことづくり委員会、ええじゃないか委員会、地域交流委員会、会員交流委員会、総務広報委員会を設置し各事業を実施する。	総会2回、役員会12回、正副会長会議12回、委員会(ひとづくり、まちづくり、ことづくり、ええじゃないか、総務広報、30周年準備室、2020特別推進室)84回、合計110回開催。	小規模事業者及び中小企業	指標	総会・役員会・正副会長会議・委員会の開催 (達成度 90.2%)	指標	個別相談者数 (達成度 %)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、当初予定していた事業を完全な形で実施することは難しかったが、オンラインやイベントを意識して、創意工夫しつつ、若手経営者のアイデアや企画力を具現化できた1年であった。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 必要性 A	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	単体内、渉外事業を積極的に実施することで地域の活性化に繋げていく。
女性会	主に小規模事業者・中小企業である女性経営者および共同経営者のスキルアップを図ることに、経営力向上に繋がる可能性があり、事業活性化を図る。	1.役員会10回 2.総会(1回・臨時総会1回)計2回 3.月例会3回 4.その他(関係団体諸会合及び各種行事等)	主に小規模事業者・中小企業者または共同経営者。	指標	役員会・総会・月例会等開催 (達成度 100.0%)	指標	景況調査調査票回収率 (達成度 %)	女性の各種事業等を契機として、女性経営者または共同経営者としての資質向上に繋がり、それぞれの事業面において活かしていくノウハウを得られたことで、事業活性化に繋がった。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 満足度 B 必要性 A	満足度 B 必要性 A	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	今後も現行どおりの目標が達成できるように、女性会の各種事業等を推進していく。
調査・広報事業	市内の景気動向や地域の事業者の状況を把握・分析し、各種媒体等での公表や経営指導時の活用などを進め、小規模事業者の経営活動に資するため、市内の(会員)事業所や各種業界団体を対象とした各種調査を実施する。 小規模事業者(商業サービス業)の新品や新サービスのテストマーケティングを実施する。 小規模事業者(製造業)の技術課題と大学の技術テーマのマッチングを実施する。	・豊橋市景気動向調査(4回:回収率52%) ・中小企業景況調査(4回:回収率70%) ・商工会議所LOBO調査(12回) ・テストマーケティング(1回)	中小企業 小規模事業者	指標	景気動向調査調査票回収率 (達成度 103.0%)	指標	景況調査調査票回収率 (達成度 91.4%)	地域中小企業の景況感を全業種に亘って網羅的に調査し、整理分析を行うことで、中小企業の経営環境や抱えている課題を把握することができた。 また、新型コロナウイルス感染症が如何に地域経済に影響を与えたか可視化することができ、優先的に取り組むべき課題を把握することができた。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 満足度 B 必要性 A	満足度 B 必要性 A	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	往復はがきによる調査に加え、電話等でヒアリングすることで、事業主のリアルな声を聞くことができた。引き続き新型コロナウイルス感染症が経済に与える影響や地域中小企業が抱える課題の集約に努めていく。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊橋商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考			
				目標①			目標②			得られた効果		ABC評価					今後の展開・改善点等		
				指標	事業計画策定支援 (達成度 410.0%)		指標	達成度 %		総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度		補足	目標①	目標②
事業計画策定支援	企業のライフステージに応じたセミナーの実施、支援を実施。事業者との相談や面談の中で、小規模事業者とともに事業計画策定を実施する。経営革新・経営改善支援企業成長・経営安定支援創業・起業支援事業承継・M&A支援	計画策定支援においては、小規模事業者・中小企業向けのコロナ対策補助金制度が数多く公募されたことに伴い、主に申請書作成に係る経営計画策定の支援を行い目標数値を大幅に上回る結果となった。	市内小規模事業者	指標	事業計画策定支援 (達成度 410.0%)		指標	達成度 %							総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への
目標数値	100	実績数値	410	目標数値	実績数値		目標数値	実績数値		得られた効果	小規模事業者は、日々の営業に追われ、自社の中・長期的なビジョンが欠落しがちであるが、伴走型で行う計画作成支援は、自社を見直す機会、また未経験者にとっては国等の補助金を活用する機会にもつながっている。	A	A	現行どおり					
事業計画実施支援	事業計画の策定を支援した事業者に対し伴走型フォローアップという位置づけで行い、事業計画や行動計画の実行、経営指導員による二人三脚で支援を実施する。	計画策定支援後、事業者に対して、適宜連絡をとり、計画の進捗等について確認するとともに、プレスリリースや専門家派遣など具体的な実行支援も行った。	事業計画策定支援した事業者	指標	事業計画策定事業者へのフォローアップ回数 (達成度 110.5%)		指標	達成度 %		総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	計画策定と合わせてフォローアップを行うことは、計画の進捗確認や見直しにつながり、重要であるため、継続して行う。
目標数値	200	実績数値	221	目標数値	実績数値		目標数値	実績数値							得られた効果	フォローアップにおいては、コロナの影響を受けている事業者も多く、スピード感をもった対応を行った。計画策定後の環境変化によって、計画の見直し・変更を行うことなどができた。	A	A	
情報交換・商談会	新たな取引先や販路・協力先の拡大・共同開発などに繋げるビジネスマッチングの場を創出することにより、事業所の活性化と地域の振興を図る。	＜地域の商談会＞令和3年2月17日・18日の2日間、豊橋商工会議所にて開催。参加申込み事業所数127。 ＜とはしビジネスネット1回実施＞	小規模事業者	指標	地域の商談会参加申込事業所数 (達成度 74.7%)		指標	とはしビジネスネット参加企業数 (達成度 45.0%)		総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	参加者のより広域化と深堀をはかり商談機会の増大で効果の高い事業とする。
目標数値	170	実績数値	127	目標数値	20	実績数値	9	得られた効果	下請中小企業の技術や製品による新規取引先の開拓と将来の継続的な取引への発展について大変有効・有意義であった。金融機関とも連携し、事業チャンスの少ない他地域での事業の巾を広げることにもつながった。						B	A	現行どおり	現行どおり	
プレスリリース発信支援・販促支援事業	企業の販売促進力の強化を図るため、メディアへの露出を戦略的に行い記事掲載される確率を向上させ、世間に自社商品・サービスの認知度を高めることで、販路開拓を図る。チラシ・DM等販促物作成支援H1P作成等IT関連支援	18社のプレスリリースを支援	市内小規模事業者等	指標	プレスリリース利用企業数 (達成度 90.0%)		指標	達成度 %		総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	新聞記事からWEBメディア掲載に繋がった事例もあり、より周知の範囲を広げることができた。今後もWEBメディアへの掲載を目指していく。
目標数値	20	実績数値	18	目標数値	実績数値		目標数値	実績数値							得られた効果	18社のうち、13社がメディアに取り上げられたことにより、認知度を高めることができた。	B	A	
雇用促進事業	＜学生就職情報センター＞大学生等の新卒予定者と地元優良企業の出会いの場をつくる。＜無料職業紹介所＞新卒学生以外の雇用マッチングを行う。＜ビジネスパーク＞中学生・高校生に地元企業を知ってもらうことにより、地元就職する意欲を高める。	＜学生就職情報センター＞合同企業説明会等の開催(7/16、9/2、12/8、12/22、2/4、2/8、2/9、3/4、3/8、3/18に実施)参加企業数375社 ＜無料職業相談所＞紹介数25件、採用者数6件 ＜ビジネスパーク＞開催回数1回	人材確保したい小規模事業者をはじめとする会員企業	指標	合同企業説明会参加企業数 (達成度 62.5%)		指標	ビジネスパーク開催回数 (達成度 50.0%)		総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	説明会は企画内容を年度途中で大幅に変更したため次年度はその内容に即して目標値を調整する。ナビは登録企業数は目標数値を若干上回っているが実際に掲載(公開)がまだの企業が多いので据置き。
目標数値	600	実績数値	375	目標数値	2	実績数値	1	得られた効果	小規模事業者へ人材採用機会を提供し、雇用の確保と経営の安定の一助となった。						B	A	現行どおり	現行どおり	
婚活支援事業	市内に事業所をおく小規模事業者をはじめとする事業主・後継者・従業員を対象に、結婚を希望する单身男女の出会いをサポートすることで後継者不足の解消に努めるとともに、地域の企業との連携、地域資源の活用等を通して地域活性化を図る。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年度は開催を見送った。	小規模事業者	指標	開催回数 (達成度 e^{value} %)		指標	達成度 %		総合評価	-	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	年齢幅の検討と地域活性化に寄与する企画の検討が必要
目標数値	3	実績数値	-	目標数値	実績数値		目標数値	実績数値							得られた効果	今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催中止とした。	B	B	
炎の祭典事業	炎の祭典の開催を通して、全国に向けた情報発信による当地域の知名度向上を図るとともに、旅行社、バス会社等を通じてツアー商品を造成していた。観光客の誘致増強に取り組み、ことをもって地域経済活性化を図る。	旅行社、バス会社等のツアー観光客数 146人 無観客での手筒花火放揚を行い、その様子を動画投稿サイトに掲載。約2,700回の視聴がされた。	一般市民、市外観光客	指標	ツアー観光客数 (達成度 7.3%)		指標	達成度 %		総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルスの情勢を注視しつつ、感染防止対策と魅力あるイベント内容の両立を目指し、最大限の観光客誘致に取り組みたい。
目標数値	2000	実績数値	146	目標数値	実績数値		目標数値	実績数値							得られた効果	新型コロナウイルスの影響により、豊橋球場での開催は中止となった。代替として、吉田城址広場で日間開催し、小規模ながら今後に繋がる事業となった。また無観客放揚動画は今後も各方面でのプロモーションで活用していく。	B	A	
ものづくり博覧会事業	昭和59年より、名称変更をしながら、隔年にて地元のものづくり技術の強さや魅力を「発信」し、次世代の若者たちに「ものづくりの楽しさ」を知ってもらうことを目的に開催している。	開催に向けて、準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止・延期となった。	東三河地域のものづくり企業(小規模事業者を含む)(申込制)	指標	申込・出展企業・団体数 (達成度 e^{value} %)		指標	達成度 %		総合評価	-	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	次年度開催に向けて準備・企画を進めるとともに、出展企業とともに、地域の人材の確保・育成を図ることができる事業展開を行う。
目標数値	160	実績数値	-	目標数値	実績数値		目標数値	実績数値							得られた効果	3回の委員会開催により、近年の課題である若者(学生)の来場を促すため、小中学生向け、また高校・大学生向けのイベント企画を行うことができた。	B	B	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊橋商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考				
				目標①			目標②			得られた効果		ABC評価					今後の展開・改善点等			
				指標	達成度(%)		指標	達成度(%)		総合評価	事業実施側の評価	自己評価	調査結果(事業者への)	満足度	補足		目標①	目標②		
地域振興祭事業	『ええじゃないか・豊橋』を中心とした演出をし、特色あるまつりとして多くの来場者を動員することにより商店街をはじめとした中心市街地の活性化を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント自体中止。急遽、オンライン豊橋まつりが開催され、「オンライン総おどり」に参加、密を避けるため、30名程度で実施。	中小・小規模事業者	指標	ええじゃないか・豊橋パレカ参加人数 (達成度 6.0%)		指標	(達成度 %)						イベントへの参加による地域貢献。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果(事業者への)	満足度
				目標数値	500	実績数値	30	目標数値	実績数値	目標達成度	A	必要性	A					下げる		実施方法①
商店街・街づくり事業	地域商店街は、単独で活動する事が難しく商店街が複数連携する事業、地域の大型商業施設との情報交換及び連携事業により商店街振興を図る。中心市街地商店街の商業機能衰退を、まちづくり会社へ事業支援を行うことで民間活力による事業の推進を図る。	①イルミネーションフェスティバル・商業団体街路灯等電灯料補助(24団体) ②豊橋商業活動懇話会の開催 ③豊橋市中心市街地活性化協議会へ参画 ④空き店舗対策事業などの活性化事業へ参画(6件)	商店街、小規模事業者、中心市街地に立地する事業者	指標	参画商店街数 (達成度 120.0%)		指標	空き店舗活用事業実施店舗数 (達成度 200.0%)		イルミネーションフェスティバル開催により、中心市街地の賑わいに繋がった。空き店舗対策事業では、魅力ある店舗を空き物件に積極的に入居していただき、中心市街地の賑わいに貢献した。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果(事業者への)	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルスの影響を受け、中心市街地の空き店舗は増加傾向に進むと予想される。空き店舗発生状況を注視し、引き続き積極的な入居誘致活動を展開していく。
				目標数値	20	実績数値	24	目標数値	3					実績数値		6	目標達成度	A	必要性	
地域産業活性化事業	豊橋・豊川・蒲郡商工会議所および東三河地区の商工会、㈱サイエンス・グレイト、豊橋技術科学大学等と組織し、地域内外の支援、連携機関との連携・協働事業の実施等により、管内のものづくり企業の育成強化を図り、新産業・新事業創出に繋がる支援活動を展開する。	産業創出やマッチングを促すための技術相談事業やものづくり人材の育成のためのMOT講座等を開催した。また浜松・飯田地区との三遠南信地域合同にて、シンフォニアテクノロジーのバイヤー企業とした新技術商談会の説明会を行った。	東三河の商工会議所管内のものづくり企業「東三河ものづくり企業」	指標	セミナー、交流会、マッチング等の回数 (達成度 50.0%)		指標	(達成度 %)		MOT講座では地元企業の事例を含め、技術経営を学ぶ機会を提供できた。また三遠南信地域による商談会への参画により、マッチング機会の提供ができた。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果(事業者への)	満足度	補足	目標①	目標②	新産業や新事業創出の地域としての玉だしやものづくり人材確保に向けた取り組みを強化し、企業力と地域産業力の向上、発展につなげる。
				目標数値	4	実績数値	2	目標数値	実績数値					目標達成度		B	必要性	B	現行どおり	
エコカー事業	次世代を担う子供たちを対象に環境にやさしい技術、取り組みを“ものづくり”を通じて学ぶ機会を提供することにより、将来に向けた人材育成に加え地球環境活動の一助となることを目的として事業を展開する。	1. 第18回高等学校エコカーレース総合大会(6月7日) ⇒ 中止 2. ものづくり教室の実施(1月24日) ⇒ 中止 委員会・ワーキング開催 2回	将来のものづくりをめざす高校生、小中学生	指標	委員会・ワーキング開催回数 (達成度 66.7%)		指標	(達成度 %)		コロナの影響によりエコカーレースは中止となった。次年度の開催に向けた会合を開催し感染症対策を含めた検討を行った。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果(事業者への)	満足度	補足	目標①	目標②	次世代のものづくり人材育成が図られるようコロナ対策を踏まえて各種イベント事業を実施する。
				目標数値	3	実績数値	2	目標数値	実績数値					目標達成度		A	必要性	B	現行どおり	
BCP事業	災害(大地震、水害など)に遭遇した際の緊急時における対策について、事業の早期復旧・継続のための準備や計画を中心に検討しておくことが大切であり、NPO団体等と連携してBCPに関するセミナー及び防災フェア等を通して普及をしていく。	1.事業継続力強化計画セミナー1回 2.第16回防災フェア1回	小規模事業者・中小企業	指標	セミナーおよび防災フェアの開催 (達成度 100.0%)		指標	(達成度 %)		オンラインで開催した事業継続力強化計画セミナーにより、事業継続力の強化を図ることができた。防災フェアにおいても、NPO団体・市との連携により、防災セミナー・講演会をオンライン開催しBCPの普及を行うことができた。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果(事業者への)	満足度	補足	目標①	目標②	BCP及び事業継続力強化計画の普及等を図るため、市・地元大学・NPO団体・関連団体等と連携しながら、BCPセミナー及び防災フェアを実施する。
				目標数値	2	実績数値	2	目標数値	実績数値					目標達成度		A	必要性	A	現行どおり	
人材育成事業	事業主、従業員のスキルアップのため、日本商工会議所、東京商工会議所主催の検定試験の実施(内、簿記検定試験受験者数1,267人)	簿記検定実受験者数 (達成度 70.4%)	小規模、中小事業所の従業員、幹部社員、経営者	指標	(達成度 %)		指標	(達成度 %)		検定試験を施行することで、小規模事業者の経営者や従業員のスキルアップ、レベルアップに寄与できた。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果(事業者への)	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き人材育成を図るべく継続実施する
				目標数値	1800	実績数値	1267	目標数値	実績数値					目標達成度		A	必要性	B	現行どおり	
福利厚生事業	小規模事業者は、福利厚生や不測の事態が起こったときの備えが不十分で、不安定な経営を余儀なくされている場合が多い。そこで、共済・保険への加入促進を図るとともに労働安全衛生規則により義務付けられている定期健康診断を実施することにより、経営の安定と事業主をはじめ、そこで働く従業員が、安心して働ける職場を図る。また、同業種だけでなく異業種の経営者が参加することにより、相互に情報交換ができる場を提供する。	生命共済、特定退職金共済制度、ビジネス総合保険、業務災害補償等、各種共済・保険の加入促進と定期健康診断事業を実施することにより、経営の安定と事業主をはじめ、そこで働く従業員が、安心して働ける職場を図る。また、同業種だけでなく異業種の経営者が参加することにより、相互に情報交換ができる場を提供する。	小規模事業者・中小企業	指標	共済・保険加入事業所数 (達成度 74.5%)		指標	定期健康診断受診者数 (達成度 93.5%)		小規模事業者の福利厚生を充実させ、事業者及び従業員の健康状態を把握することにより生活習慣病の予防と安定的な事業活動の維持を図るための一助となった。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果(事業者への)	満足度	補足	目標①	目標②	次年度も引き続き共済並びに保険制度の加入促進及び健康診断を実施し小規模事業者における福利厚生の充実を図る。
				目標数値	200	実績数値	149	目標数値	200					実績数値		187	目標達成度	B	必要性	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

団体名： 豊橋商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考					
				目標①			目標②			得られた効果	総合評価	A	事業実施評価	ABCD評価				今後の展開・改善点等				
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度					自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①	目標②	引き継ぎ、新規委託事業所の適用促進を図るとともに、委託された事業主の事務負担軽減にも対応していく。	
労働保険事業	労働保険(労災・雇用保険)の加入手続をはじめとした各種事務処理は、中小企業の事業主に負担になることが少なくない、そのため事業主に代わって各種届出等労働保険の事務を代行し、事務負担の軽減を図るとともに労働保険適用の加入促進を行う。	労働保険事務新規委託件数28件(保険関係ごとの合計)	常時使用する労働者数300人以下(金融業・保険業・不動産業・小売業は50人以下、卸売業・サービス業は100人以下)	指標	新規委託件 (達成度 93.3 %)			指標	達成度 %			雇用保険の加入・喪失手続や保険料申告事務を代行することにより事業主の事務負担を軽減でき、雇用・労務をはじめとした労働保険についての各種相談にも対応できた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標②		引き継ぎ、新規委託事業所の適用促進を図るとともに、委託された事業主の事務負担軽減にも対応していく。
産業団体等指導事業	豊橋市を中心に、主として東三河の市並びに町に所在する事業所を以って組織し、会員の資質向上のための勉強会並びに経済的諸条件の向上を図ると共に、産業の振興に寄与する。	豊橋鉄工会で以下事業を行った。 ①総会(1回) ②講演会(1回) ③優良従業員表彰式(1回) ④正副、役員会、懇談会(4回)	市内の中小企業者、小規模事業者	指標	鉄工会事業の回数 (達成度 70.0 %)			指標	達成度 %			コロナの影響により親睦事業の多くが中止となった。特に、優良従業員表彰は、単独企業ではなかなか効果が見えにくい、共同で開催し、業界で表彰することで、定着率や従業員のモチベーションのアップにつながっている。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 満足度 B 必要性 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標②		コロナ禍においてはこれまでとは違った形態で事業展開を図っていく。加えて当地域、業界の発展につながるような活動等も支援する。
若手後継者育成事業	地域経済の発展に寄与することができる人材育成、意識の醸成、経営者の資質向上を図るべく「行政への政策提言」という枠組みでセミナーおよび豊橋市役所若手職員とのディスカッションを企画・運営する。	新型コロナウイルス感染症の拡大により、未曾有の試練に直面している中、地域経済をこれまでよりもさらに活性化させるためには、それぞれの企業を支える人材が自己肯定感を高め、自らにエールを贈るとともに、社内外にエールを贈ることができる人材になることが重要という認識のもと、「自分にエール！大好きな仲間たちにエール！～勇気を与える言葉の力～」をテーマに、ベップトーク研修会を開催。	小規模事業者及び中小企業	指標	参加人数 (達成度 64.0 %)			指標	参加者満足度 (達成度 125.0 %)			事前配布のテキストをもとに、ZOOMによる講義や4、5人のグループワークを通じて、ベップトークの重要性や言葉の力、コミュニケーションスキルを学んだ。 参加者からは、「自社でのマネジメントや人材育成に生かしていきたい」、「生活や家庭においても、言葉の使い方に気をつけたい」といった感想が聞かれた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	地域の活性化、人材育成、企業の経営発展に資する事業を展開していく。	